

令和5年 決算特別委員会（総括質疑） 開催状況
 （経済部産業振興局産業振興課・次世代半導体戦略室）

開催年月日 令和5年11月15日（水）
 質問者 日本共産党 真下 紀子 委員
 答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>二 半導体産業誘致等について （一）公文書を作成しなかった要因について （真下委員） 各部審査でラピダス社誘致に係る道庁内の意思決定過程を示した公文書が作成されていなかったことを経済部が認めました。 「知事の所管事務に係る公文書の管理に関する規則」第七条には「経緯も含めた意思決定に至る過程並びに当該本庁等の事務及び事業の実績を合理的に跡付け、又は検証することができるよう、処理に係る事案が軽微なものである場合を除き、公文書を作成しなければならない」としております。 今回ですね、規則にある「軽微なもの」と判断したから、このラピダス社誘致の公文書を作成しなかったのか。それとも、経済部の瑕疵によって公文書を作成しなかったのか、お聞きします。</p> <p>【再質問】 （真下委員） それでは、軽微なものではなく、大変重要な決定だったと思うんですけどね、公文書が作成されていなかったことを知事はどう受け止めたんですか。</p> <p>（二）開示すべき情報について （真下委員） 政策決定過程における公文書として記録し、後に検証するっていうことは、行政として当たり前のことなんですよ。それが道民や議会に対する説明責任を果たすっていうことなんですけど、この点が非常に道庁においては甘いと言わざるを得ないと思います。 各部審査でラピダス社誘致決定の妥当性を検証できる資料の提出を求めましたが、経済部は道の情報公開条例に基づき黒塗りの資料しか提出しませんでした。 企業の内部管理事項に関する情報がなくとも、道庁の意思決定過程を公文書として残していくことは可能であって、尚且つ現行規定の要請である、ラピダス社誘致に係る道庁の意思決定過程を今からでもですね、公文書としてまとめていく必要があると考えますが、知事の見解を伺います。</p> <p>【再質問】 （真下委員） そうしますと、知事はこの公文書管理規則に則った対応とは言えないと、経済部の対応はね、そうした規則に則った対応とは言えないと判断して、改めて作成を指示したということでしょうか。</p>	<p>（知事） 公文書についてであります、ラピダス社への誘致にあたっては、プレゼンの実施案などについて担当部が取りまとめた文書により説明がなされ、私としては、その場で了承し、トップセールスの実施を決定いたしました。部では、その文書をもって決定の記録として保管していたものであり、軽微なものとの考えから議事録を作成しなかったわけではないとの報告を受けております。 今後の記録の作成については、道の規則等に基づき、適切に対応するよう指示したところでございます。</p> <p>（知事） 公文書についてであります、経済部では軽微なものとの考えから議事録を作成しなかったわけではなく、プレゼン実施案などについて、とりまとめた文書をもって、決定の記録として保管していたものとの報告を受けておりますが、記録の作成への認識について十分ではなかったことから、今後道の規則等に基づき、適切に対応するよう私から改めて指示をしたところでございます。</p> <p>（知事） 公文書についてであります、ラピダス社へのトップセールスに関する道の意思決定過程に係る打合せ記録については、道の規則等に基づき作成するよう、私から改めて指示したところでございます。</p> <p>（知事） 公文書についてであります、今後の記録の作成については、道の規則等に基づき適切に対応するよう指示をしたところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>【再々質問】 (真下委員) つまり、規則に則った対応ではなかったから、改めて指示をしたということことだと思っうんですね。 この度の公文書の未作成は、道民共有の財産として記録すべき公文書の存在意義を軽んじていたが故に起こったと言わざるを得ません。 これまで、公文書管理に則っていない行為があった際は、全庁に再発防止のための文書を発出していただけですけども、今回も同様の再発防止措置をとるのでしょうか。</p> <p>(三) 東会長の発言について (真下委員) 各部審査で道は、道内半導体関連企業の実態について、大手半導体メーカーなどの製造拠点が立地し、工場の増設等の動きがあると答弁して、非常に耳あたり良く聞こえたわけですね。 一方、時事通信社の関連団体である「一般社団法人内外情勢調査会」において、ラピダス社の東哲郎会長は講演で「重要な部分は国防の領域である」「そういう半導体を我々はまずアメリカの客に届けなければならぬ」と発言をしました。知事はこの発言をご存じでしょうか。道内半導体関連企業にも軍事防衛に転用される半導体製造に加担させることになる可能性を知事は認識をしておられたのか、お伺いします。</p> <p>【再質問】 (真下委員) ラピダス社は説明会で、安全保障を視野に入れていると表明していましたが、経営トップがこれほど赤裸々にですね、米軍や軍需産業への納品の可能性を示唆したことはありませんでした。 知事は、半導体はありとあらゆる電子機器の基幹部品だとお答えになったわけですけども、軍需産業への提供がありうるという説明を、道民に対して、一度でも説明したんでしょうか。</p> <p>【再々質問】 (真下委員) そうしますとね、知事は、ゼロカーボンに資すると言って基金から税金を投入したわけですけど、今回ですね、軍需産業への供給ということになれば、まったくこの理由が成り立たなくなるわけですけど、どうお考えですか。</p>	<p>(知事) 公文書の作成についてであります。まずですね、公文書の管理に関する規則や文書管理規程等の関係規定に基づき適切に対応してまいりたいと考えております。 そして、その文書の適切な作成につきましては、改めて職員に周知していきたいと考えてます。</p> <p>(知事) 半導体の用途についてであります。内外情勢調査会が主催する全国懇談会における東会長の講演があったことについては報道で承知をしておりますが、発言の内容の詳細につきましては、把握をしております。 半導体は「産業のコメ」といわれ、あらゆる電子機器に必要とされる基幹部品であると認識をしております。 ラピダス社が製造を目指す次世代半導体については、量子、AIなどを含むさまざまな分野でイノベーションをもたらす、我が国のカーボンニュートラル、更には経済安全保障の鍵となる極めて重要な中核技術であると承知をしております。</p> <p>(知事) 半導体の用途についてであります。ラピダス社が製造を目指す次世代半導体は、量子、AIなどを含むさまざまな分野でイノベーションをもたらす、我が国のカーボンニュートラル、更には経済安全保障の鍵となる極めて重要な中核技術であり、こうした半導体の人々の豊かな暮らしや産業の発展に寄与することを期待しております。 また、次世代半導体の製造拠点のプロジェクトの成功に向けては、より多くの道民の皆様に理解を深めていただき、共感を得ることが重要であり、今後も、事業の進捗に応じ、様々な機会を捉え、このプロジェクトの意義や、半導体産業の現状、将来展望などについて道民の皆様への丁寧な説明に努めてまいります。</p> <p>(知事) 道民への説明についてであります。次世代半導体の製造拠点のプロジェクトの成功に向けては、より多くの道民の皆様に理解を深めていただき、共感を得ることが重要と認識をしております。 今後も、様々な機会を捉え、このプロジェクトの意義や、本道における半導体産業の現状、将来展望などについて、道民の皆様への丁寧な説明に努めてまいります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>【再々々質問】 （真下委員） 時間ありませんので最後の質問にしたいと思うんですけども。 鈴木先生、鈴木先生。どうしてそう呼ぶか分かります？鈴木知事は、18日放送の「世界で一番受けたい授業」の先生として登場されることになっていて、もう11日に収録終わっていますよね。なんかカニカニスタイルをニコニコしてやっていたけれども。 道民への説明も果たさずですね、北海道の半導体関連企業や学生などに兵器製造の一端を担わせ、米国の軍事産業への納品につながりかねない事態を黙認して、鈴木先生は推進するというお考えなのかどうか。このところはっきりさせていただきながら、私の質問を終わります。</p>	<p>（知事） 半導体の用途についてであります。ラピダス社が製造を目指す次世代半導体は、さまざまな分野でイノベーションをもたらす、我が国のカーボンニュートラルや、経済安全保障の鍵となる極めて重要な中核技術であると認識をしております。 人々の豊かな暮らしや産業の発展に寄与することを期待をしているところであります。</p>